

PTA 秋田

No.108

平成21年3月6日

発行：秋田県PTA連合会

事務局：秋田市山王中島町1番1号
秋田県生涯学習センター内
TEL (018) 864-8975
FAX (018) 824-7935

E-mail: pta-akita@helen.ocn.ne.jp
http://www1.ocn.ne.jp/~akipta/



秋田県PTA連合会
会長 渡辺 正宏

『PTAの存在意義』

6月の総会で会長に任命されてこの1年、会員の皆様から支えていただきました。

たことに感謝申し上げます。会長職を引き受けた方がいいが、果たして会員の方々に納得していただけるような働きができたかどうか、自分の微力さに反省することばかりです。

おかげさまで、第34回秋田県PTA研究大会「湯沢雄勝大会」そして60周年記念講演会や全県PTA会長会議・県教委との懇談会など今年度の事業も滞り無く開催できましたことに改めてお礼申し上げます。

連合会の活動として、メディアリテラシーの問題、特にケイタイの危険性について取り組んでまいりましたが、最近社会的にも注目され、大きな関心事として捉えられ始めたことは喜ばしいことと思っておりますし、我々の活動が評価された証しだと自負しております。今後も地道ではありますが、子どもたちを守る活動を続けていきたいと考えております。

このように、県の連合会という大きな組織でなければできないことも多くありますが、基本となるのは何よりも単位PTAにあることは疑いの無いことです。保護者同士が意見を出し合い理解する、保護者と教師が話し合い信頼を深める、こんな姿が子どもたちにいい影響を与えないはずが無いと思っております。PTAの存在意義は、このようなところにあるのではないかと確信しております。これから皆様方の積極的な参加を期待申し上げます。

平成21年度 第57回 日本PTA全国研究大会 みやぎ大会

向き合おう！ まっすぐに
語り合おう！ 子どもの未来のために

期 日 平成21年8月21日(金)～22日(土)
会 場 21日 分科会
石巻市民会館他10会場
22日 全体会
利府町 宮城県総合体育館
(ホッパウス スーパーアリーナ)

記念講演 脳を知り、脳を育み、
脳を鍛える

講 師 川 島 隆 太 氏
(医学博士/東北大学教授)
主な著書・「自分の脳を自分で育てる」
・「脳を鍛える大人のドリル」

標記大会は東北ブロック研究大会と兼ねておりますので、会員皆様から多数のご参加をお願いいたします。

※第1次案内は4月に各都市P連事務局を通して配布します。



「閉校記念 雪中ジャンボカルタ大会」親子で仮装して勢ぞろい
(上岩川小学校)

目次

Contents

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ■『PTAの存在意義』……………1 | ■メモリアルページ ～私たちの学校～ ……3 |
| ■教育懇談会の開催……………2 | ■PTA安全互助会から……………4 |
| ■都市PTAだより……………2 | ■お知らせ・編集後記……………4 |

「愛ある子育て 夢ある子育て」

教育懇談会の開催

本連合会では、より良い教育環境づくりを目指して県教育委員会との「教育懇談会」を昨年度に引き続き、平成21年1月13日に開催しました。

県教委からは根岸教育長、濱田参事、須藤義務教育課長、担当課員と本連合会会長役員等20名が出席して活発な意見交換となりました。

根岸教育長は「学力テストの2年連続のトップクラスは、これまでの本県の教育が間違っていないことがこの証であり、教育は本県唯一の財産であり、宝物である。」と挨拶の冒頭で述べ、「知恵を出し合って教育立県秋田を支えていきたい。」と結びました。

懇談会では(1)小・中学校の携帯電話への対応を含めた有害環境対策の推進について、単Pでの研修会の開催、親の意識の差等の実態が把握され、県からは学校への持ち込み禁止の状況等の発言があった。(2)学力テストの活用では、公表による親、先生、子どもの信頼関係が崩れることへの心配、総合的な学力につながるかの疑問等、一方では公表で子どもの認識ができた、底上げの必要性への理解等の意見が出され、県からは公表は学力の底上げのために必要であり、それは子どもたちが社会に出てか

ら自分の力を十分に発揮できる資質を創ることで、そのことに全力をあげて取り組むとのことであった。(3)「早寝・早起き・朝ごはん」運動の展開では県、本会とも次年度も継続することと一致した。(4)小学校の英語学習の現状については、23年度からの本格導入に向けて進められているモデル校(9校)の現状と教員研修の在り方、必修(5・6年生)後の学習内容等が県から示された。

最後に、教育長は知事への「遺憾」文書にふれて、結果を公表するしかないが問題なのではなく、公表をその活用につなげることが大切であると強調し、改めて「学びの十か条」の熟読を進められました。

2時間の話し合いの中で、お互いの理解が深まり一層の協力を約して和やかに本年度の教育懇談会が終了しました。

秋田わか杉っ子 学びの十か条

- 一 早ね早おき朝ごはんは家庭学習
- 二 学校の課題では必ず一家庭一読書で心を育てよう
- 三 読書で心を育てよう
- 四 読書で心を育てよう
- 五 読書で心を育てよう
- 六 読書で心を育てよう
- 七 読書で心を育てよう
- 八 読書で心を育てよう
- 九 読書で心を育てよう
- 十 読書で心を育てよう

郡市PTAだより

「教育懇談会」について

能代山本



去る2月21日、「教育懇談会」を開催いたしました。この事業は、能代市、三種町、八峰町、藤里町の4市町教育委員会における教育方針や事業等の違いを認識することにより、それぞれの地域のPTA活動に生かすことを目的に行っており、今年度も各教育委員会からのご出席をいただき、約50名のPTA会員と「家庭教育」をテーマに懇談会を行いました。

由利本荘市

市P連教育懇談会

由利本荘市PTA連合会では、昨年度、善隣館において「第一回由利本荘市PTA連合会研究集会」を開催した。隔年での研究集会開催としたので、今年度は全体の研究集会は行わないが、由利本荘市内各地区のPTAでは、それぞれ地域の特色を生かした研修活動が行われている。十二月六日(土)には市P連主催の教育懇談会を開催し、市教育長より将来を見越した教育施策説明や市P連からの要望書への回答をしていただき、各地区Pの活動内容の紹介をし合うなど、とても有意義な会を開催することができた。



湯沢雄勝

本音で話せるPTAの会を

本年度は、県PTA研究大会を開催する機会をいただき、子どもたちを取り巻く諸問題をじっくりと話し合うことができました。本大会の研修会では、「子育て」について「フォーラム」による身近な方々のご助言や「母親委員会(HaHaCom)」の茶話会形式の話し合いにより子どもたちの悩みを共有できました。「足が重かったが、来て良かった」というお話しもあり、成果を今後の活動にいかしていきたいと思っております。



昨年12月県内8地域の書店・コンビニで有害図書等の実態調査を行いました。
(小・中・高PTA会員と県職員)
「青少年を取り巻く有害環境対策推進事業」

北秋田市立竜森小学校



①明治11年8月
②12名

八峰町立観海小学校



①明治11年10月10日
②90名

私の卒業の年に完成した学校が閉校になります。自分の中の宝物がなくなり、寂しい気持ちでいっぱいです。校舎の有効活用を期待します。

今春で、百三十年の歴史に幕を下ろすこととなりました。校名は変わっても観海っ子の伝統を守り継いで欲しいと思っています。

八峰町立岩館小学校



①明治7年6月7日
②37名

八峰町立八森小学校



①明治9年11月1日
②69名

『鱸と悪戦苦闘 網外し』寒風の中、鼻水垂らしながら凍える手で鱸の網外しを体験。絡まる網、飛び出るブリ子に大騒ぎ。「鱸の里」の学校行事。

八森小は、創立百三十二年の歴史と伝統があります。校舎も厳しい潮風に耐え、四千名近い卒業生を送り出してきました。八森小ありがとう！

私たちのメモリアルページ

①創立年月日
②児童数

今年度をもってPTA活動の区切り(閉校)となる学校があります。PTA会長のコメントとともに校舎・校章を記録として残したいと思います。

三種町立鹿渡小学校



①明治12年2月15日
②194名

閉校にも負けない子どもたちのパワーが、私たちPTAの活動の源である。すこやかな子どもたちの成長、その願いや夢を、新小学校へ託そうと思う。

三種町立鯉川小学校



①明治17年4月16日
②19名

少人数にもかかわらず、野球・ミニバスで大活躍した鯉川小はまさに小さな大学校であった。そこには、いつでも地域あげての応援が見られた。

三種町立上岩川小学校



①明治10年12月12日
②19名

閉校の寂しさは、これまで学校と地域が一体となつて上岩川小の事業に取り組んできた歴史の重さゆえなのだと思います。

横手市立大森小学校



①明治7年7月10日
②141名

百三十四年の歴史を一旦閉じることになりました。四月からは、保護者、地域が一体となつて新たな大森小学校を盛り上げていきたいと思っています。

横手市立白山小学校



①明治11年5月5日
②75名

地域の方々が、作り上げてきた伝統と歴史。それを受け継ぎ語り継ぐ、感謝の心と責任。新たな出発の前に、今一度、刻みつけたいと思います。

横手市立川西小学校



①明治7年11月5日
②90名

学校のシンボルである三本松に見送られながら今、百三十四年の歴史に幕をおろすことになりました。これまでの伝統を生かし、精一杯トライしてほしいと思います。

秋田県PTA安全互助会から

平成20年4月から平成21年1月までの児童・生徒とPTA会員の事故の実態をまとめたものです。
お互い、十分に気をつけたいものです。参考にしてください。

◆ 事故件数

児童・生徒	1,539件
PTA会員	43件
賠償	児童・生徒 78件
	P T A 2件
総 計	1,662件

1 児童・生徒の傷害事故

事故実態	1,539件
遊 戯 中	598件
自転車事故	219件
スポーツ活動中	397件
他スポーツ中	142件
交通 事 故	30件
日常生活 他	152件
PTA行事中	1件

2 PTA会員の傷害事故

行事内容	43件
バレーボール	20件
野球・ソフトボール	4件
運動会・レクリエーション	19件

3 賠償事故

児童・生徒	78件
車の破損	29件
建物・ガラス	35件
メガネ・その他	14件
PTA	2件
車の破損等	

加入のお願い

秋田県PTA安全互助会では、児童・生徒・PTAに対する総合補償制度への加入促進に取り組んでおります。
平成21年度の「加入のご案内」について、3月中旬に各単位PTAへあてにお送りいたします。安全互助会の趣旨をご理解いただき、特に未加入校におかれましては、役員会等でご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

★「広報紙コンクール」にご応募を
例年実施しております「県連広報紙コンクール」ならびに「日P全国広報紙コンクール」の募集を行います。
詳しい内容は、各郡市P連事務局を通じて連絡いたします。

家庭の風景

三行詩入賞作品 (日P主催)

◆小学生の部
保田 大輔 (広島県)

〈兄 弟〉
弟一人でも お兄ちゃん、
弟二人でも お兄ちゃん、
そして、今度生まれてくる
弟が妹がふえても
お兄ちゃん、
お兄ちゃん、
ほくは、ずっとお兄ちゃん。

◆中学生の部
溝口 紗季 (鹿児島県)

〈安心〉
母のにおい
父のにおい
ぜんぜん違うがほっとする

◆一般の部
西俣 佳代子 (宮崎県)

〈育てる〉
親は子育て あたりまえ
子どもは知らず知らず
親を育てる

編集後記
本県の児童・生徒の学力、体力ともに全国のトップを占めたことは、いかに教育環境に恵まれているかの証明である。学校、地域、家庭の連携の賜である。「学びの十か条」を今一度読み直してみたい。
子どもたちが進学、進級する季節、PTAも新しい活動が始まります。新年度に期待を込めるとともに、本連合会へのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。(N)

平成21年度の予定！

- 3月28日(土) 平成20年度第5回委員会、理事会
- 5月30日(土) 新役員会議
- 6月6日(土) 県PTA安全互助会定期総会
- 7月11日(土) 秋田県小・中学校PTA会長会議
- 8月21日(金) 22日(土) 日P全国研究大会みやぎ大会
- 10月17日(土) 18日(日) 秋田県PTA研究大会男鹿大会

「大人の休日倶楽部ミドル」 きっぷが何回でも5%割引になります。



初年度
年会費
無料

割引エリア JR東日本・JR北海道線

回数・割引率 何回でも5%割引

割引条件 片道・往復・連続で201キロ以上ご利用の場合

たとえば、東京→仙台間を往復とも新幹線(自由席)をご利用の場合(乗車券含む)

割引前 20,160円 → 割引後 19,140円 1,020円もおトク!

www.jreast.co.jp/otona/ TEL 050-2016-7000

〇くわしくは、JR東日本の主な駅・びゅうプラザにある入会申込書をご覧ください。



日新火災

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社
日新火災海上保険株式会社 秋田支店
〒010-0001 秋田市中通4-5-2 TEL.018-837-5255



そのとき、
ほっとフワーク。
日新火災にできること、
それは、お客様の
万が一のリスクに備え
すぐに対応できるように
万全の体制を構築しておくこと。
いつ、どんなときでも
素早いフットワークで、
安心のほっとフワーク。
それが、日新火災です。